常陸の風

第１１１号　令和7年１２月

秋祭りにて
～シャルレモリモトファミリーズ様による沖縄エイサー太鼓演舞～

「インフルエンザについて」

看護主任　小池早苗

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる病気です。

突然38℃以上の高熱、咽頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などが現れるのが特徴です。主に「飛沫感染」と「接触感染」の二つの経路で感染が広がります。

高齢者や乳幼児、基礎疾患がある方、妊婦などは重症化するリスクがあるため予防接種を受けることで重症化を防ぐことが期待できます。

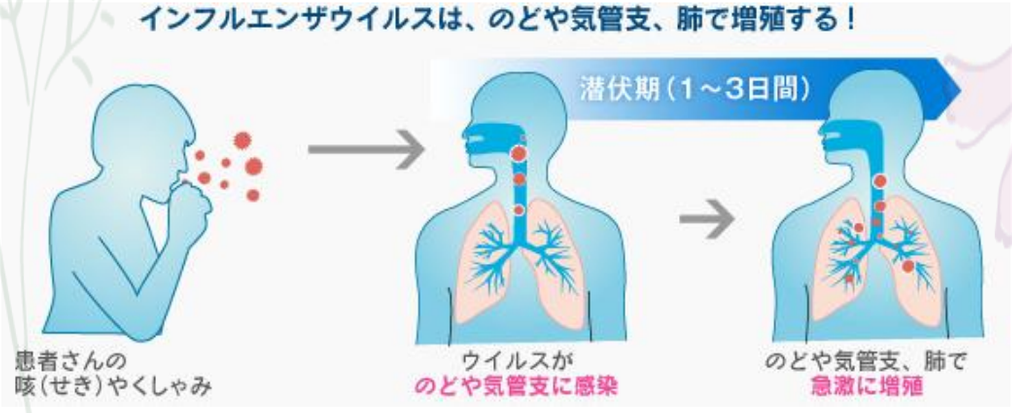
日常の予防として、手洗い・うがい・咳エチケットを行い、環境整備として室内の湿度は50～60%に保つように心がけましょう。

また十分な睡眠と休養をとり、体の抵抗力を高めましょう。

インフルエンザに罹ってしまった場合は、症状が現れてから早めに受診（48時間以内）して抗インフルエンザウイルス薬を服用すると効果的と言われています。

安静にし脱水症状を防ぐために十分な水分を摂取しましょう。

熱が下がってもウイルスは排出されているため外出は控えてマスクを着用し周囲への感染を防ぎましょう。



活動報告

10/25

秋祭り

10/5

フライングディスク競技大会

10/11

石岡市障害者スポーツ大会

11/12

オセロ・輪投げ大会

スポーツ大会に参加しました

保護者会だより

千葉「愛光家族会」との交流会

保護者会会長　野口 清

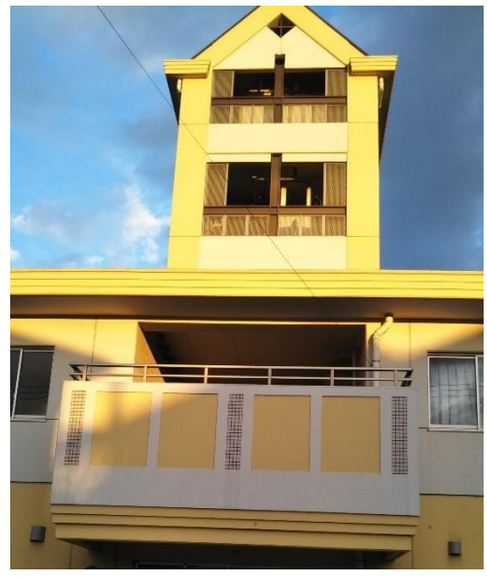
まっすぐな道路脇の並木が紅葉する中を進んでいくと、障害者福祉施設「愛光」がありました。周辺は住宅街で高い建物はありませんから、シンボルとなる“塔”がそびえたっている様子がよく見えます。

11月16日光風荘保護者会の4名で、千葉県佐倉市にある盲重複障害者施設「愛光」を訪問しました。愛光には、

リホープ：軽度領域の知的障害を併せ持つ視覚障害者
めいわ：中度領域の知的障害又は視覚障害と知的障害を併せ持つ方
ルミエール：重度～最重度領域の知的障害と視覚障害を併せ持つ方

の3施設があり、それぞれ50名から60名程度の障害者がくらしています。

めいわ家族会を見学



愛光では、それぞれの施設に家族会があり、最初に「めいわ家族会」（２ケ月毎に開催）を見学しました。

めいわでは10月頃にコロナ感染が発生し、現在は終息していますが、感染状況や対処について施設側から説明がありました。また、利用者の平均年齢が58.6歳になり、利用者のもしものときのために、本人や家族が望む医療やケアについて前もって考え、医療・ケアチームと話し合い、共有する取組（人生会議）についての研修を予定していることなどが報告されていました。

ルミエール家族会で「給食懇談会」に参加

その後、ルミエール家族会（毎月開催）を見学しました。この日は家族が利用者と同じ食事をいただき、感想を述べあう「給食懇談会」（年1回開催）があり、光風荘保護者も参加させてもらいました。驚いたことに、保護者や職員から「〇〇の味が塩辛い」、「脂っこい」、「温めた方が良いのでは」といった辛口の批評がたくさん飛び出し、栄養士もたじたじでした。しかし、そうした批評が食事内容の向上につながりますし、近年の物価高の影響や苦労などを共有することで、相互の理解が深まることが期待できました。

施設の見学と家族会協議会での話し合い

居室や作業所、当日行われていた音楽会（カラオケ大会）を見学しましたあと、3つの施設の家族会で構成する家族会協議会に同席させてもらいました。協議会には、それぞれの家族会の役員と各施設長が出席し、施設に共通した問題等を話し合っています。

光風荘の参加者から、利用者のことで「職員とどのようなコミュニケーションをとっているのか」という質問がでました。それに対して施設長の一人から、「入ったばっかりの若い職員の中にはコミュニケーションが苦手の者もいる。そうした者が家族とのコミュニケーションが出来るまでには３、４年はかかる。しかし、みんな利用者のことを思って仕事をしているので、少し待ってほしい」という説明があり、信頼関係の構築には一定の時間が必要であると思いました。

また家族会の役員からは、「保護者で気づいたことがあったときは第三者委員会に話をするようにしている」と聞かされ、第三者委員会を積極的に活用することの重要性を感じました。

上写真

織機を使って織った織物（さおり）。奥は織機。

下写真

７０周年記念のメッセージボード。職員一人一人が抱負を書いたカードを掲げている。

光風荘だより

選択外出

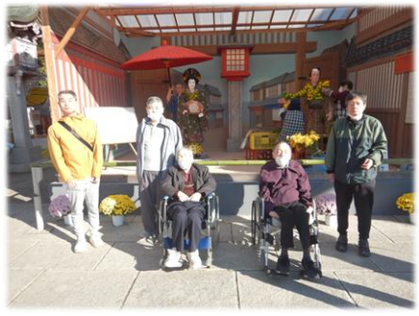
8/5

8/28

9/4

日帰り旅行

9/18
&
11/4



一泊旅行 in 群馬

10/20
～
10/21

アネックスだより

食事会

9/11

10/21

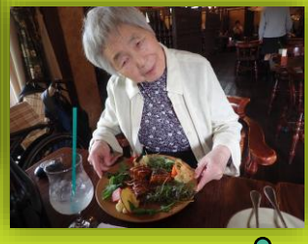
日帰り旅行

8/7

9/9

9/25

10/7



11/11

11/18

寄付金品名簿

JA新ひたち野 様

☆皆様からの温かいご寄付を頂きまして、心から感謝しております。

ボランティア名簿

ぽこ・あ・ぽこ様　　たんぽぽの会 様　　白鶴会 様

☆当施設をいつもお心にかけていただき、深く感謝しております。

地域連携推進会議

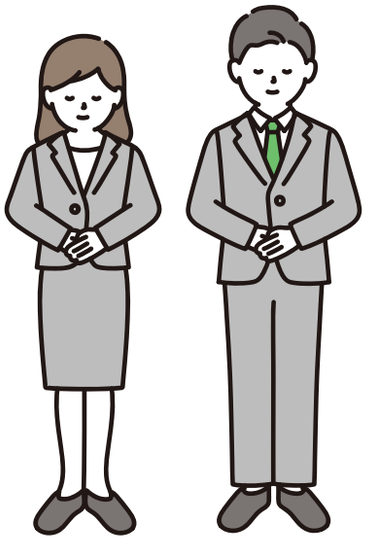
9月9日、利用者の方、保護者の方、地域の関係者として地域ボランティア団体でボランティア連絡協議会理事の方、市町村担当者として市社会福祉課職員の方のご出席をいただき、第1回地域連携推進会議が行われました。今後も頂いた様々なご意見を参考に改善に努めていき、より良い施設へとなれるように取り組んでいきたいと思います。

～苦情の受付状況～

受付：1件　（対応済）

内容：他利用者様の行動についてうろうろさせないで欲しい、声が大きいので抑えてほしい等の苦情がありました。

対応：対象者には様々な方がいるので、声の大きい方や多動の方のご利用を断る、ご利用がないという約束はできない。但し、利用者の皆様が快適に過ごせる様に注意していきますと説明し、納得していただきました。



ご意見、ご要望がありましたら、下記までご連絡ください
〒315-0003　茨城県石岡市谷向町13番23号
社会福祉法人　　常陸青山会
障害者支援施設　光風荘
障害者支援施設　光風荘アネックス
TEL：0299-22-5811（光風荘）
TEL：0299-22-5848（光風荘アネックス）
FAX：0299-22-2577
ホームページ： http://www.kofuso.jp/
Eメール： kofuso@atlas.plala.or.jp
担当：中野・高階・小林・市毛・髙田

★本誌に掲載の写真・文章等は全てご本人の許可を頂き掲載しています。